



学校だより

令和5年度 12月発行
学校法人松蔭学園
松蔭大学附属
松蔭高等学校
校長 川下 進

HP : <http://www.shoin.ed.jp/>

Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

高校2年生 修学旅行

11月7日(火)より3泊4日で山陰・山陽地方へ修学旅行に行っていました。中学では新型コロナウイルスの影響で修学旅行に行けなかった、という生徒にとっては待ちに待った宿泊行事でした。最終日に少しだけ雨に降られてしまいましたが、それ以外はすばらしいお天気に恵まれ、有意義な学校行事となりました。

○旅程表

7日(火) 平和記念公園(ガイドさん付)見学→平和記念資料館見学→秋芳洞見学

8日(水) 松陰神社参拝・吉田松陰歴史館見学→日本海眺望→出雲大社参拝

9日(木) 足立美術館→鳥取砂丘・砂の美術館見学

10日(金) 蒜山高原→姫路城(ガイドさん付)見学→東京駅で解散

【生徒の感想文より抜粋】

今回の修学旅行の中で印象に残った場所が二カ所あります。

一カ所目は広島市の平和記念資料館です。暗い室内で優しい光に照らされている展示品の数々。テレビではなかなか取り上げられない当時の人々の写真や遺族の方々が語った亡くなる前の会話が、その人の遺品と共に展示されていました。そのほとんどが子どもで、亡くなる直前までみんな家族のことを想っていたのを知り、涙があふれて止まらなくなりました。なぜこんなにも家族を想っていた人達が、ささやかな日常を奪われてしまったのか、言葉に言い表せないくらいに悲しくなりました。また、このことを忘れてはいけないと強く感じ、私は今回感じた悲しみを一人でも多くの人に伝えていきたいと思いました。

二カ所目は鳥取砂丘です。雲一つない、綺麗な青空に映える小高い砂の山。人生の中で見たことのない絶景に心を奪われました。あまりにも気持ちが良い天気だったので、靴を脱ぎ裸足になりました。温かくて、足が砂に沈んでいく感覚が不思議で楽しかったです。砂丘の中でも一番傾斜が急な場所があり、駆け登ることにしました。最初は楽でしたが、砂の上ということもあり、だんだん苦しくなりました。その頂上からは波打つ海が目いっぱい飛び込んできました。風が吹いていた場所が少し冷たくて心地よかった



です。砂丘でたくさんはしゃぎ、そこから見た景色は一生忘れることはないと思います。

今回の修学旅行では、たくさんの方々に支えられて楽しむことができました。両親、先生方、ガイドさん、カメラマンさん、宿や地域の方々。支えて見守ってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝の気持ちを忘れずに今後の学校生活も過ごしていきたいと思います。

税に関する高校生の作文

高校1・2年生では夏休みの課題として、税について考えをまとめて作文に書き、「税に関する高校生の作文」コンクールに応募しました。

高校1年生2名の作品が「北沢税務署長賞」に選ばれ、表彰されました。受賞者のうち1名の作文を紹介します。

「私たちの生活のために必要なこと」

消費税の始まりは、1989年に3%で施行され、次の1999年に5%に引き上げられる。その後2014年に8%、2019年には10%に引き上げられた。この年々の増税が国民を騒ぎにおとし入れた。そしてテレビや新聞でも最近消費を取り上げているのはよく見かける。しかしその半分は増税の反対運動などの内容が多かった。みなさんはなぜここまでにして反対意見をたくさん受けながらも国が増税することを決意したのでしょうか。

今となっては税があるのが当たり前になっている世の中で私は税金の使い道を調べてみた。調べてみるとそれはどれも国民にとってとても大事な「公共サービス」に関係しているものばかりだった。例えば健康や生活を守る社会保障費、道路や住宅などを整備する公共事業費など、国の防衛のための防衛費だった。これを見て私は生活に必要な不可欠な公共サービスは税によって成り立っているのだと思った。もし税金がなかったら消防車や救急車などトラブルに巻き込まれたとき、費用を気にして相談しなければならなくなる。消防車や救急車が有料になるなんて今では想像できない話だ。消防車や救急車にも税金が使われていたことを初めて知った。また、じいちゃんが使っているデイサービスなどのお年寄り、体が不自由な人の施設や整備が不十分に行われていないことも分かった。こうなると家事と育児に追われているのに、プラス介護にも専念しなければいけなくなる。お互いに精神面、精神面の安定に繋がらず悪い方向へ進んでいく可能性が十分にあり得る。もし税がなかったらと考えると、たかだか生活にとって不便なことがたくさん出てしまう。このことから一概に増税が悪いとは言えないことが分かった。

私も最初増税は国民に負担を増加させているだけだと思っていた。しかしよく調べてみると自分たちの生活をより充実させるために必要不可欠なものだと分かった。調べたから分かったことであって、当然税が何に使われているか分からない人には反対意見しか持っていないであろう。私はもっと多くの人にCMや身近で見られるもので税が何に使われているのかメリットなどを詳しく発信していく必要があると思った。また一気に税を増やすのではなく、国民や企業の負担を考えながら慎重に調整することが必要だ。

PTA より

10/14・15の両日に行われた文化祭において、4年ぶりにPTAバザーが復活し、たくさんの保護者の方々のご協力のおかげで、大盛況のもと、実施することができました。

売上金につきましては、先生方のご意見なども参考に、できるだけ多くの生徒に活用できる方向で検討してまいります。バザー販売品のご提供から、準備、当日の係にいたるまで、お手伝いいただき誠にありがとうございました。

PTA 会長 千葉文子

生徒会より

文化祭で生徒会主催のカフェテリアを出店しました。たくさんの方々に利用していただき、二日間の売り上げは、45,600円でした。この売上は生徒会費として生徒の活動に還元させていただきま

す。

八支部だより

毎年、10月から11月にかけて父母の会と私立中高協会が中心となって3度の大きな大会が私学振興と教育費保護者負担軽減のために開催されております。

10月7日(土) 東京都市大学附属等々力中学・高等学校にて「私学振興拡充支部大会」が開催されました。東京都議会議員をお招きし、私学振興に関する様々な要望を伝えました。

10月17日(火)「私学振興予算要望期成大会」が共立講堂にて開催されました当日は、全国の私立小・中・高等学校から保護者や教職員が多数参加しました。

11月1日(水)「私学振興全国大会」が文京シビックホールにて開催されました。当日は各議員の方々が多数出席されました。主催団体の日本私立中学高等学校連合会の近藤会長からは国の私立学校教育へのさらなる支援要請について話され、保護者からの要望文も読まれました。本大会は「私立学校教育の更なる充実のため、経常費補助の拡充強化」「父母負担教育費の公私間較差の是正」「施設設備等を含む教育水準維持・向上のための支援補助制度の拡充強化」を大会決議とし、力強く要望がなされました。

それぞれの大会に本校八支部委員の方々並びに教職員が参加しております。ご協力いただいた本校八支部委員の方々には心より感謝申し上げます。第八支部の活動にご理解いただき今後ともお力添えいただきますよう、よろしく願いいたします。